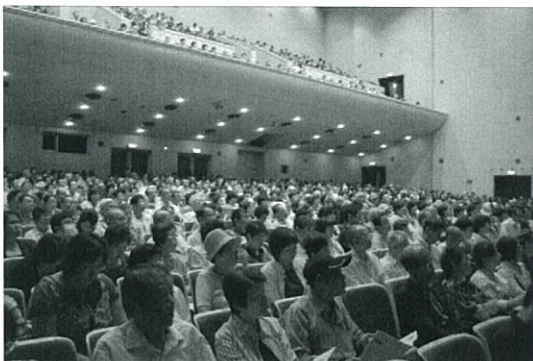


NPO 法人ミーネット
平成 21 年度「がんサポーター」養成講座のご案内

NPO 法人ミーネット活動内容の紹介

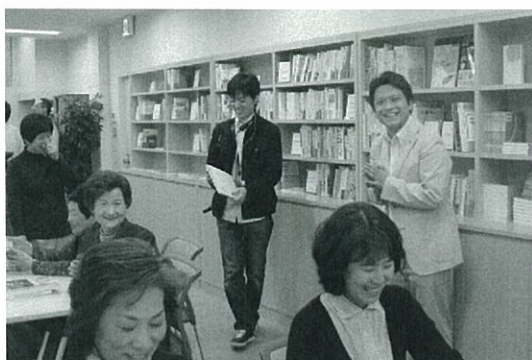
ミーネットは、行政や医療機関と連携協力をはかりながら、地域に根ざした「がんサポート活動」に取り組んでいます。



がん治療の最先端情報をはじめ、がん全般の知識を深める講演会やシンポジウムなど、患者さんやご家族がよりよくがんに向き合うための催事を定期的開催しています。



同じがん種の患者が集まって、懇談会や相談会、専門医を招いての勉強会などを月に2回程度のペースで行っています。ご家族も一緒にご参加いただけます。



がん患者さんが情報を収集し学びあう「がん相談情報サロン・ピアネット」を、名古屋市との協働で運営しています。がん関連図書を900冊以上とりそろえ、患者さんやご家族のご相談に答え、情報集のお手伝いをしています。懇談のためのフリースペースに加え、個別相談ブースも設けています。



がんサロンや医療機関でサポート活動していただくがんピアサポーターを養成していきます。がん治療体験者や家族が体験から得た知識を生かし、新たにがんにかかった人を支える取り組みです



名古屋市にある7ヶ所のがん診療連携拠点病院の、「がん相談支援センター」の相談員の方々と情報交流を随時行い、定期的に懇談会を持つなど、がんに関する多様なニーズにお応えできるよう連携協力を図っています。



医療機関に、がんのピアサポーターを派遣して、「出張ピアサポート」を行い、入院中あるいは外来通院の患者さんに、同じ患者の立場でお話を伺い、前向きに治療に取り組むお手伝いをしています。

平成 21 年度「がんサポーター」養成講座とは

地域に根ざした「がん患者・家族」サポート活動に取り組む NPO 法人ミーネットでは、日本財団より活動助成を受け、2009 年度 がん診断時から在宅ホスピスまで～がん難民をつくらないためのピアサポート事業」として、名古屋市および名古屋市立大学の協力のもとに、がんの正しい知識をはじめ、相手の悩みや不安を受け止め共に問題解決にあたるコミュニケーションスキルなど、総合的な知識を身につけた「ピアサポーター」を養成します。

がんと診断された時から、患者さんやご家族は様々な不安や悩みに直面します。治療について、あるいは心理的な問題など、すべてを主治医と共に話し合い納得と理解が得られれば、こんな安心なことはありません。

けれども、どの医療機関も深刻な医師不足という問題を抱え、一人の医師が多くの患者を診るという現状があります。勤務医の8割近くは休憩も取れない過密労働に置かれ、3割以上が週 80 時間以上の労働を余儀なくされている中で、医師が一人ひとりの患者の悩みや疑問に心ゆくまで対応することは、極めて難しいといわざるを得ません。

このような状況を踏まえてミーネットでは、がん種別の患者会や勉強会を通して、患者同士が共に学び支え合ってきました。そうした自助努力の活動が自分たちの問題の解決を助け、多忙な医師の助けにもなることを認識できる成果も得られました。

ミーネットはこのような経緯から、多くのがん患者さんと共に歩むNPOとして「がん患者をはじめ市民の立場から医療に貢献する」ことを理念とし、平成 20 年度に「がんのピアサポーター養成・モデル事業」を行いました。

「ピア」は「仲間」、「サポート」は支えることを意味します。

がん治療体験を持つ患者さんが、自身の治療体験や闘病を通して得た知識を生かして、新たにかんにかかった人たちを仲間としてサポートする存在が「ピアサポーター」です。

本講座は、日本財団の助成を受け、講座編成にあたっては名古屋市立大学病院および名古屋市病院長の協力を得て開講されます。がんになっても安心な街づくりの一翼を担う市民サポーターとして、あなたのご参加を心よりお待ちしております。

1. がん・ピアサポーター養成講座

「がん・ピアサポーター」とは、がん患者さんやご家族ひとり一人の状況を踏まえながら相手の悩みや不安を傾聴し、治療体験や養成講座での学びを生かして、相手の抱えている問題を共に整理し解決の糸口を探る協力者です。

I. 対象者

ボランティア精神に基づき、がん患者さんやご家族を「がんの仲間」として共感と理解をもって支える姿勢と意欲をもった方で、講座修了後に活動ができ、下記に該当する>

1. がん体験者
2. がん体験者のご家族
(ただし、患者さん本人と同等の治療における知識をもった方が望ましい)
3. がん医療に関する医療・福祉関係者
4. 上記3.に関係する学生

II. 講座について

1. 全講座の受講後に「がん・ピアサポーター」養成講座修了証書をお渡しいたします。
2. 規定の出席日数(2回までの欠席を認める。ただし基礎講座は除外)に達した方は、講座修了後に「がん・ピアサポーター」認定試験を受けることができます。ただし、認定試験を受けなくても、市民活動や患者会活動、ご家族やお友達のサポート、またご自身のために講座で身につけたことを役立てていただけます。
3. 認定試験に合格の方には「NPO 法人ミーネット認定:がん・ピアサポーター」としての資格を授与します。
4. 認定を受けた方は、下記のような機会や場所でピアサポート活動に取り組むことができます。
 - 1) 名古屋市がん相談情報サロン・ピアネットでの活動
 - 2) ピアネットからの地域医療機関への派遣(院内がんサロンでのピアサポート)
 - 3) NPO法人ミーネット主催の講演会などに併設するピアサポート・コーナーなどでの活動
5. 講座を欠席する場合は、次期の同じ講座への出席が可能です。
6. 講座修了後、スキルアップのための研修会が定期的に開催されます。
7. この養成講座内および認定後の活動において、どのような場合も、営業活動、特定団体や宗教への勧誘行為を固く禁止します。
8. この養成講座内および認定後の活動において、どのような場合も、健康食品、健康器具などの扱いや、医学的根拠に基づかない特定の療法を推奨することはできません。

III. 講座内容

ピアサポーター概論 / ピアサポーターの心得 / 患者・家族の悩みや不安を知る / 患者・家族との向き合い方 / 話の聴き方・言葉の選び方・伝え方 / がんの相談窓口と特徴を知る / がんの基礎知識 / がんの4大療法(①化学療法②ホルモン療法③手術④放射線療法) / 進行がんの治療 / 補完代替療法 / 病院選びとかかり方のポイント / インフォームドコンセント / セカンドオピニオン / 地域の医療機関の実績・特徴・機能を知る / がん患者の在宅医療と医療資源を知る / がんと哲学 / リビングウィル / ピアサポート実習 / 「がん・ピアサポーター」認定試験(筆記・プレゼンテーション)

IV. 募集概要および開催概要

1. 対象者

上記 I. をご参照ください。

※おそれいりますが、募集人数の制限と趣旨から、「医療コーディネーター」および「がん情報ナビゲーター」など、他の講座で学ばれ、資格を取得された方は応募をご遠慮くださるようお願い申し上げます。

2. 募集人数 40 名 ※定員になり次第、締め切ります。ただし、応募が定員を超える場合は対象者1)の方を優先させて戴いた上で抽選となります。

3. 開催日程

1) 基礎講座

・平成 21 年 9 月 26 日(土)27 日(日)および 10 月 3 日(土)の午前 10 時～午後 4 時まで

2) がん種別セミナー

・21 年 10 月の毎土曜日。ただし、選択する「がん種別セミナー」により出席日や時間が異なります。

・基本的には、選択セミナーは自身のがん種、もしくは今後自身に得意分野として学びたいがん種を1講座以上とします。受講者全員の必須セミナーは

①放射線治療講座 ②緩和ケア ③がん哲学外来の3セミナーです。

※別紙、がん種別セミナー予定をご参照ください。

(講師の日程調整中ですが、毎回、土曜日の開催は決定です。)

4. 主な講師陣 ※一部変更する場合があります。

上田龍三氏 名古屋市立大学院医学研究科 腫瘍・免疫内科学 教授

大野竜三氏 愛知県がんセンター名誉総長 愛知淑徳大学医療福祉学部 教授

伊藤壽記氏 大阪大学大学院医学系研究科 生体機能補完医学講座 教授

樋野興夫氏 順天堂大学医学部病理学教授 同大学「がん哲学外来」担当

阿部まゆみ氏 名古屋大学 がんプロフェッショナル特任講師

※他に、名古屋市立大学、名古屋大学をはじめとして、各がん種の専門医を予定

5. 会場 名古屋市立病院内 (研究棟講義室など)

6. 受講料 5,000円

※お申込みを戴いてから、受領書と共に講座資料とともに
お支払い方法を郵送でご連絡いたします。

7. 応募締め切り 平成 21 年 9 月 15 日

以上

NPO 法人ミーネット がんピアサポーター養成講座への期待



名古屋市立大学医学部教授 名古屋市病院局長 上田龍三さん

ミーネットの活動方針の一つである「がん医療をより良いものにするために、患者同士でできることもある」という考え方は、がん医療の均てん化に大きく寄与するものです。これまでの活動で得たスキルを生かし、その人に合った情報を提供できる場所として、がんピアサポーター養成講座の運営を進めてほしいと思います。



愛知県がんセンター名誉総長 愛知淑徳大学教授 大野竜三さん

ミーネットの地域に根差した活動が実を結び、患者さんやご家族の誰もが利用できる、情報と交流の拠点が開設されたことを、がん診療に携わる一人として、とても嬉しく思っています。がん診療連携拠点病院の相談支援センターなどと連携を図りながら、よりよいサポートができるよう期待しています。



社会保険中京病院 がん相談支援センター 看護科長 大矢早苗さん

がん患者さんやご家族の抱える悩みや不安などを支えるには、幅広いサポート体制が必要です。がん相談支援センターで行っていることを、がんピアサポーターと互いに力を合わせ情報交換をしながら、より良いサポート体制の在り方を考えていくことができれば素晴らしいと思います。



ピアニスト／がん体験者 藤江博子さん

いま「生きている」ことに感謝をこめて、チャリティーコンサートを企画した折り、ミーネットの縁結びで、名古屋で開かれた日本癌学会学術総会のシンボルバッジ「プリズムリボン」の制作に皆様のお気持ちを生かすことができました。これからも様々な縁を結んで、地域にがんサポートの輪を広げてください。

■お問い合わせ先

NPO 法人ミーネット

〒4660032 名古屋市昭和区天神町 3-6-5C

TEL 052-851-7113 FAX 052-851-7114

email : tokai-medi@tokai-medi.co.jp